

## セムカン、総務省「自治体 DX 事例集」に議会のデジタル化事例として掲載

— 政務活動費 DX で年間 136 万時間・38 億円相当の事務負担の見直しを後押し、  
統一地方選対応キャンペーン展開中（～2026年6月） —

- 株式会社エイブルコンピュータ（本社：石川県金沢市、代表取締役：新田一也）は、地方議会向け政務活動費管理 SaaS「セムカン」が、総務省の自治体 DX 事例集サイトの「議会のデジタル化」カテゴリーにおいて、「政務活動費の管理・精算をデジタル化し、議員・議会事務局双方の負担を軽減」する取り組みとして紹介されたことをお知らせします。
- 当社は、議員がより政策活動に向き合い、事務局職員がより本質的な業務に力を注げる議会 DX をさらに加速するため、令和 9 年（2027 年）の統一地方選後に始まる新任期を見据えた「統一地方選対応キャンペーン」を実施し、全国の議員・議会事務局の皆さまに広く呼びかけてまいります。

### ■ 全国の地方議会に潜む「隠れた業務負担」

印刷、コピー、スキャン、紙書類の搬送、手書きメモ、電卓での確認、黒塗り作業。政務活動費の管理・精算業務は、いまなお紙と Excel を前提とした運用が多く、議員・議会事務局双方に大きな負担を生んでいます。

当社が議会関係者へのヒアリングをもとに行った試算では、政務活動費を交付する**全国 946 議会**において、関連事務にかかる負担は**年間延べ 136 万時間、38 億円相当**にのぼります。本来は議員の政務活動や、議会事務局のより本質的な業務に充てられるはずの時間が、書類のやり取りや確認、修正、差し戻し、公開対応に費やされているのが現状です。特に 4 月～6 月頃は、収支報告書の作成や添付書類の確認、情報公開対応が集中し、事務局にとって大きな繁忙要因となります。

こうした予算・決算書からは見えにくい「隠れた業務負担」の蓄積を、デジタルの力で見直すことが、いま議会現場に求められています。



## ■ 総務省の事例集に、議会 DX の取り組みとして掲載

セムカンは、総務省の自治体 DX 事例集サイトの「議会のデジタル化」カテゴリの中で、「政務活動費の管理・精算をデジタル化し、議員・議会事務局双方の負担を軽減」する事例として紹介されました。

総務省の自治体 DX 事例集は、全国各地の自治体が DX を進める際の参考となる事例を集約したものです。その中でセムカンが掲載されたことは、政務活動費管理のデジタル化が、議会運営における業務効率化の『有効な解決策』として、国からも認められた成果であると自負しております。

今回の掲載は、セムカンの認知拡大にとどまらず、統一地方選後の新任期を見据え、「そろそろ自議会でも準備を始めたい」と考える議員・議会事務局の皆さまにとって、議会 DX への関心を高め、第一歩のアクションをご検討いただく機会になると考えています。

### 総務省 地域 DX ポータルサイト「自治体 DX 推進参考事例集」

カテゴリ：議会のデジタル化

掲載内容：「政務活動費の管理・精算をデジタル化し、議員・事務局双方の負担を軽減」

URL：[https://www.soumu.go.jp/denshijiti/digital\\_transformation\\_portal/case/r07\\_dx3\\_47.html](https://www.soumu.go.jp/denshijiti/digital_transformation_portal/case/r07_dx3_47.html)

## ■ 全国 21 議会で本格導入 数字で見える導入効果

セムカンは、令和 8 年 5 月現在、全国 21 議会で本格導入が決定・実施されています。都道府県議会のような大規模議会から市議会まで、東北から九州・沖縄まで導入が広がっており、議会の規模や地域を問わず活用が進んでいます。



また、導入・実証中の議会関係者を対象としたアンケートでは、次のような結果が得られています。

- 議会事務局の確認時間が 80% 削減できた
- 96% 超が「継続利用を希望」と回答

こうした結果は、セムカンが単にシステムを置き換えるだけでなく、議員・議会事務局双方の業務負担を実感レベルで軽減していることを示しています。

## セムカンが実現する主な変化

- 領収書の撮影から支出登録、事務局への確認申請までを Web 上で一元管理
- 収支報告書や項目別集計表を自動生成し、集中する新年度が始まってからの締め処理を効率化
- 個人情報の黒塗りや情報公開用データの出力に対応
- タブレット端末・スマートフォンのアプリ「セムカンカメラ」と連携し、領収書の読み取りを効率化
- クラウド型のため、場所を問わず作業でき、高水準のセキュリティ環境で運用可能

## ■ 今から準備を始めるための「統一地方選対応キャンペーン」

新任期が始まってから整えるのではなく、その前に準備しておくことが、政務活動費 DX をスムーズに進めるうえでは重要になります。統一地方選後は、新たな議員構成や運用体制に合わせて、政務活動費のルールや実務フローを見直しやすいタイミングです。一方で、任期開始後に制度や運用の整備を進めようとする、議員・議会事務局双方に大きな負荷がかかります。

そこでエイブルコンピュータでは、令和 9 年（2027 年）の統一地方選後を見据えた準備を支援するため、「統一地方選対応キャンペーン」を実施しています。

令和9年度4月新任期スタートに向けて  
今、検討を始める議会様への

# 統一地方選対応 キャンペーン

キャンペーンでは講習会（体験会）費用と  
初期設定費用を無償として提供いたします。  
※本キャンペーンに参加の場合令和9年3月までセムカンを無料でご利用いただけます。

■ 申込期間 令和8年1月～令和8年6月

事務所の確認時間 80%削減  
連絡希望 96%超  
令和8年度導入予定 20議会

\*第1期議員選挙結果よりアンケート結果より（令和7年12月現在）

## キャンペーン概要

名称	統一地方選対応キャンペーン
申込期間	令和 8 年（2026 年）6 月 30 日まで受付中
対象	セムカン SaaS 版により政務活動費管理のシステム化・標準化に取り組む全国の議会
主な支援内容	・令和 8 年度（2026 年度）中のセムカン SaaS 版の一定期間無償利用 ・体験会（議員および議会事務局向け研修）の無償実施 ・本番環境での試行運用サポート ・「予算化の進め方」「条例改正の可否」などの導入前相談にも対応
費用	キャンペーン期間中は無償。プログラム終了後は通常価格で継続利用可能
申込・詳細	<a href="https://semkan.jp/pr/campaign2026">https://semkan.jp/pr/campaign2026</a>

「うちの議会でも使えるのか」「導入にあたり何から始めればよいか」

そうした初期段階のご相談から、運用設計、試行導入まで、専門スタッフが丁寧にサポートします。

## ■ 代表者コメント

株式会社エイブルコンピュータ 代表取締役 新田 一也

「全国で年間 136 万時間・38 億円もの事務コストが、政務活動費管理に費やされている現実を、私たちは変えたいと考えています。

今回、総務省の自治体 DX 事例集に掲載されたことは、セムカンが全国の議会現場が抱える実務課題に応える選択肢の一つとして、広く関心を持って受け止められたものと考えています。また、来年春に予定される統一地方選を機に、全国の議会へ普及を加速し、議員が政務活動に、議会事務局職員が本質的な業務に、それぞれの時間を取り戻せるデジタル環境の構築を推進してまいります。」

## 【参考】政務活動費管理 SaaS「セムカン」概要

サービス名	政務活動費管理 SaaS セムカン
提供開始	2024 年 6 月（実証実験期間含む）
提供形態	クラウドサービス（SaaS）
対応デバイス	PC・タブレット（インターネット接続可能なもの）
主な機能	支出登録・確認申請・承認・収支報告書自動作成・情報公開機能・個人情報黒塗り処理・セムカンカメラ連携など
導入実績	全国 21 議会（令和 8 年 5 月現在） 都道府県議会・市議会など、東北～九州・沖縄に展開
対象	政務活動費を交付する全国の地方議会（議員・議会事務局）
公式サイト	<a href="https://semkan.jp/">https://semkan.jp/</a>

## 【会社概要】株式会社エイブルコンピュータ

---

会社名	株式会社エイブルコンピュータ
代表取締役	新田一也
本社所在地	石川県金沢市
設立	平成8年（1996年）8月
事業内容	ソフトウェア開発・クラウドサービスの提供
会社サイト	<a href="https://ablecomputer.co.jp">https://ablecomputer.co.jp</a>